

平成22年度 当初予算

平成22年度の当初予算が決まりました。一般会計は、景気低迷で市税収入の減収が見込まれますが、国や県の交付金などを活用し、137億5,300万円、前年度比0.6%の減と昨年度とほぼ同規模としました。

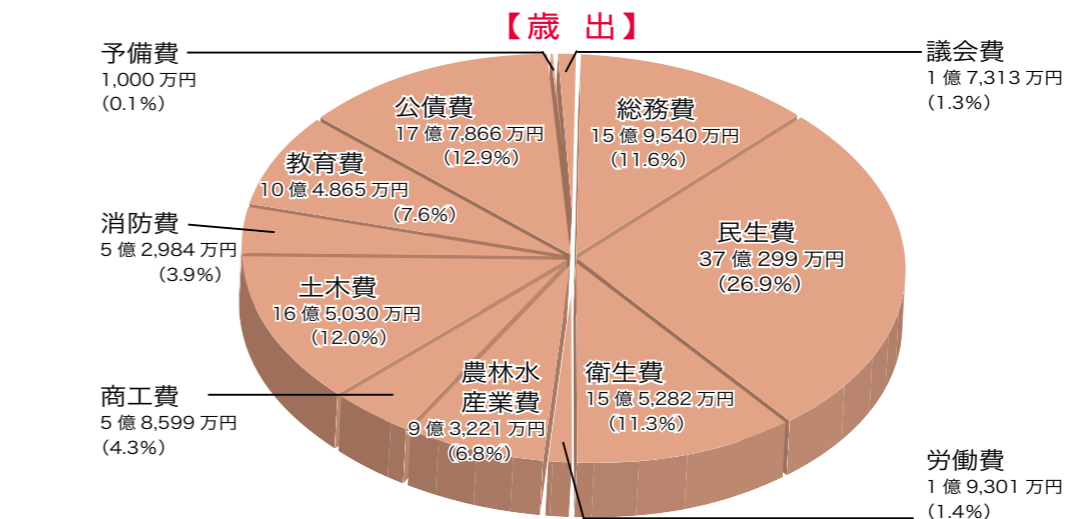
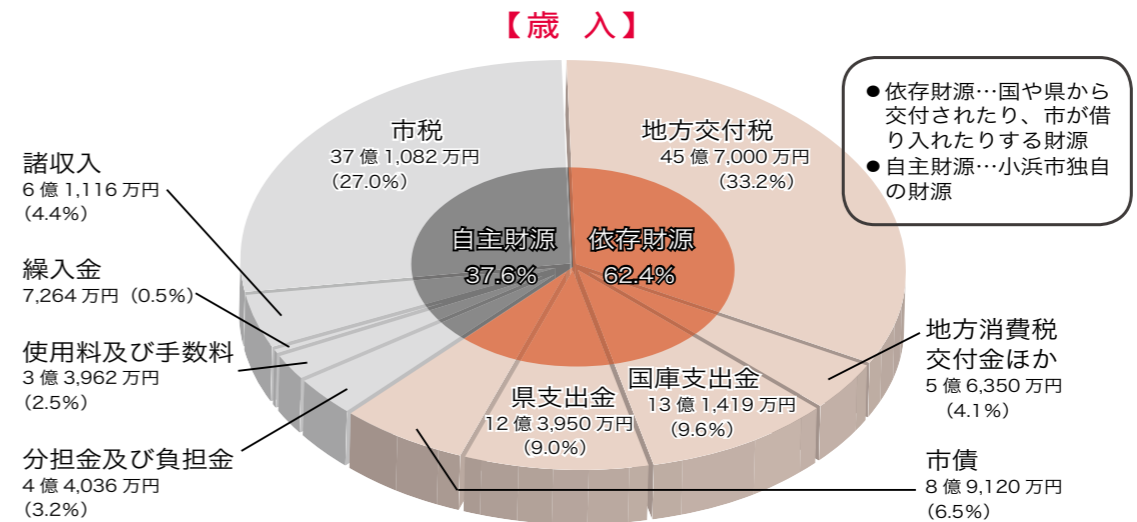
持続可能な健全財政の確立のため、人件費や建設費、新たな借金は抑制しながら、将来に向けたまちづくりに向けて、ソフト事業を中心に細かく予算付けを行いました。限られた財源を効果的、重点的に配分したメリハリのある予算とし、財政調整基金（貯金）を取り崩すことなく編成しました。

特別会計の合計は、87億5,389万円で前年度比12.3%の減、企業会計（水道事業会計）は8億5,487万円で前年度比7.2%の減となりました。

※端数調整をしているため、会計別の合計額と予算総額に差があります

■問い合わせ 財政課 ☎内線 333

一般会計 137億5,300万円



歳入は、景気低迷による市税の減少が見込まれます。歳出では、社会保障関係経費をはじめ、公共下水道事業などの特別会計への繰出金や公立小浜病院組合への負担金が増加し、借金の返済も平成二十三年度をピークに高い水準で推移します。このことから、今後数年間は厳しい財政状況が続くと予測されます。

これらを踏まえ、第四次行政改革大綱や中期財政計画により人件費や建設費の抑制、新たな借金の抑制を、着実に実行するとともに、事業評価に基づき四十七事業の整理統合を進めました。

また、市長マニフェストを着実に推進するため、新たに「予算特別枠」を設けて、観光、産業、福祉、人づくり関連のソフト事業を中心とした予算を盛り込み、子ども手当や地震防災マップ作成などもあわせて、四十一事業を新規事業として立ち上げました。

また、市長マニフェストを着実に推進するため、新たに「予算特別枠」を設けて、観光、産業、福祉、人づくり関連のソフト事業を中心とした予算を盛り込み、子ども手当や地震防災マップ作成などもあわせて、四十一事業を新規事業として立ち上げました。

平成22年度 会計別当初予算

	平成22年度	平成21年度	増減率
一般会計	137億5,300万円	138億3,433万円	▲0.6%
特別会計	87億5,389万円	99億8,304万円	▲12.3%
内訳			
国民健康保険	29億9,412万円	29億8,902万円	0.2%
老人医療	248万円	802万円	▲69.1%
後期高齢者医療	3億6,532万円	3億5,845万円	1.9%
介護保険	28億3,868万円	28億1,357万円	0.9%
簡易水道	8,331万円	9,166万円	▲9.1%
下水道	19億3,648万円	31億1,446万円	▲37.8%
農業集落排水	4億5,914万円	5億1,392万円	▲10.7%
漁業集落環境整備	5,238万円	6,659万円	▲21.3%
駐車場	2,196万円	2,732万円	▲19.6%
加斗財産区	3万円	3万円	0%
企業会計	8億5,487万円	9億2,129万円	▲7.2%
内訳			
国民宿舎	0円	7,820万円	皆減
水道	8億5,487万円	8億4,309万円	1.4%
合計	233億6,176万円	247億3,866万円	▲5.6%

総務費
(課税徴収、防災、戸籍事務など)
49,788円

民生費
(障害者、高齢者、児童の福祉など)
115,560円

衛生費
(環境保全、ごみ処理など)
48,459円

農林水産業費
(農業、林業、水産業の振興など)
29,092円

一般会計予算を市民1人当たりになると**429,192円**で、目的別内訳の主なものは次のとおりです（人口32,044人 3月1日現在）

商工費
(商工業の振興、観光事業など)
18,287円

土木費 (道路、河川、公園の整備や維持管理など)
51,501円

教育費 (学校教育、社会教育、体育施設の維持管理など)
32,725円

公債費
(借金の返済)
55,507円

このような

事業に使います

快適で住みよい社会を目指して

- 小浜西インター整備事業 1億3,968万円
フルインターチェンジ化整備を平成23年7月までに行います
- 道の駅整備事業 5,000万円
道の駅に併設して、物産販売などを行う施設を建設します
- 公営住宅管理経費(補助) 3億8,067万円
山手団地(3棟24戸)を建設します
- 高齢者運転免許自主返納支援事業 20万円
運転免許証自主返納者にコミュニティバス利用券などを渡します
- 小浜市地震防災マップ作成事業 501万円
地震防災マップを作成します

生きがいに満ちた福祉社会を目指して

- 元気で長生き生きがい活動支援事業 47万円
高齢者に身近な場所で健康づくりに関する講話や運動の機会を提供します
- 高齢者等にやさしいコミュニティセンター改修助成事業 100万円
各区の集会所などのトイレを、高齢者に優しい洋式トイレに改修する費用の一部を助成します(補助率20% 補助限度額10万円)
- 地域子育て支援事業 1,328万円
旧今富第一保育園に担当職員や家庭相談員を配置して、誰でも気軽に利用できる「地域子育て支援センター」を設置します
- 保育園施設等耐震化推進事業 2,121万円
保育園や児童館、母と子の家の耐震補強工事を行います
- 子ども手当支給事業 4億9,045万円
子育てにかかる経済的負担の軽減のため、中学校修了までの子どもを対象に手当を支給します

計画推進のために

- 「市制60周年前年祭」事業 60万円
第5次総合計画の公開説明会や10年後のまちを描く絵画、作文コンクールを実施します
- いいとこ小浜づくり活動支援事業 200万円
まちづくり活動団体に助成金を支給します(詳しくは来月号をご覧ください)
- 休日および夜間納付窓口等の設置事業 (ゼロ予算)
【税務課】月末の日曜日(9時~17時)と月末の平日夜間(20時まで)
【上下水道課】月末の平日夜間(20時まで)納付窓口を設置します

【予算特別枠とは】市長マニフェストを基本に、「つぎの小浜(つぎのこはま)」次世代に向けたまちづくりに関する事業を、別枠として新たな発想で企画予算化したものです

赤字
: 新規事業
: 予算特別枠



山手団地は、全体で5棟48戸になります



鳥獣害対策として恒久金網柵を設置



利用者の利便性を考え、納付窓口を設置



シカ肉を使った料理の試食会

活力ある産業の育成を目指して

- 小浜のグルメ・地場産品活性化事業 200万円
「小浜まちおこしグルメコンテスト」や「旬鮮市」を開催します。また、地場産品を活用した加工品やB級グルメの開発を支援します
- 歴史街道・観光コース開発事業 43万円
寺社を巡る観光周遊コースの策定やパンフレットの作成、記念品などの開発を行います
- 鳥獣害の防止に関する事業(5事業) 1億4,197万円
シカやイノシシによる農産物への被害を未然に防ぐため、電気柵や恒久金網柵、山際に緩衝帯を設置します。また、捕獲隊員の雇用や駆除委託もを行います
- OBAMA 猟・漁グルメ開発事業 648万円
狩猟肉や農林水産資源を活用したメニューの開発を行います
- 農ある暮らし支援事業 75万円
市民農園の開設を支援します
- 農林水産ビジネス起業支援事業 150万円
未利用、低利用の農林水産資源を有効活用して、商品化につなげるための研究費を助成します
- 小浜市伝統的工芸品後継者育成事業 1,134万円
伝統的工芸品に携わる後継者を確保し、育成します

明日を担う人材の育成を目指して

- 中学校施設耐震化推進事業 2,200万円
小浜中学校北館の耐震補強について、基本設計、実施設計を行います
- 小浜ウエスト物語開催事業 185万円
小浜西組重伝建保存地区で、まちなかギャラリーやまちなかコンサートを開催します
- 児童書読み聞かせ事業 (ゼロ予算)
保育園や学校などで児童書の読み聞かせを行います
- 地域いきいき人づくりモデル事業 200万円
各公民館で健康講座の開催や地域づくり活動への支援を行います
- 第30回記念OBAMA若狭マラソン大会開催事業 240万円
ゲストラナーとして瀬古利彦さんを招へいして、スポーツ教室を開催します
- 重伝建地区保存修理事業補助金 2,350万円
小浜西部の同地区で建築物などの修理、修景に対して補助金を交付します